

観音教寺所蔵俳諧資料目録

長島 弘明・洪 晟準・金 美眞

以下の目録は、千葉県山武郡芝山町にある天台宗の名刹、天應山観音教寺（通称芝山仁王尊）が所蔵する俳諧資料の目録である。これらの俳諧資料は、ご住職の濱名徳永師が、地域文化の理解に資することを願ひ、長年にわたり収集整理と研究に情熱を傾けられてきたものである。この俳諧資料の収集は、同じく濱名師によって昭和三十三年に設立された芝山にはわ博物館と並び、この地域の文化が実に長い歴史的背景を持つていること、また極めて成熟したものであることを広く世に知らしめる一大文化事業であると言っても過言ではない。

資料は、上総・下総の俳諧資料が多く、とりわけ芭蕉門人の杉山杉風、その門弟といわれる中川宗瑞の俳系に立つ、飛鳥園関係のものが充実している。飛鳥園は、二世宗瑞で

ある広岡宗瑞を一世とし、その後、二世が寂阿一叟、三世が貞翁一叟、四世が天堂一叟と代々一叟を名乗って近代に至り、十二世風寿一叟まで続いている。中でも著名なのは、『七部十寸鏡』『芭蕉桃青翁御正伝記』等の著書がある芝山の近隣出身の四世天堂一叟（一七七七～一八五七）で、芭蕉七部集の注釈書である『七部十寸鏡』は、版行されたものは『春の日』『ひさご』『猿蓑』『続猿蓑』のみであるが、観音教寺には、七部すべての稿本（目録の「俳書（撮影対象）」の資料番号1・2の『七部集解』）が残存する。『冬の日』『曠野』『猿蓑』『続猿蓑』には複数の稿本が残る。また、『春の日』『ひさご』『猿蓑』『続猿蓑』の稿本は、版本とはかなりの異同があり、『七部十寸鏡』の推敲過程を知りうる貴重な資料である。その他、芭蕉や杉風の自筆をはじめ、飛鳥

園関係の自筆物（自筆本、自筆懐紙、自筆短冊）は枚挙にいとまがない。これらは、江戸期における上総・下総の俳諧の実態を知る上でもっとも貴重な資料群である。

観音教寺と飛鳥園一統とは元々関係があるらしい。その関係がいつから始まったのか、どのようなものであったのか未だ詳らかにしないが、境内には杉風・初世宗瑞や飛鳥園歴代の句碑があり、また三世飛鳥園の貞翁一叟が文化七年に建立した「観音のいらか見やりつはなの雲」〔末若葉〕他所収〕という芭蕉の句碑がある。

私は、平成二十二年夏に、濱名徳永師の学友であられた故山田昭全先生にご相談を受けた久保田淳先生のご仲介により、お二方と一緒に初めて観音教寺にうかがい、その後平成二十四年に、東京大学大学院の学生・研究生や、卒業生である高野奈未氏、牧藍子氏にお手伝いをお願いし、三月三十日、四月三十日、六月十日、七月二十二日、九月二日の五回にわたって調査と写真撮影をさせていただいた。その参加者は、次の通りである。

高野奈未、牧藍子、片龍雨、日置貴之、洪晟準、金美眞、韓守珍、金珂良、梁誠允、シルビエ・ブランディソヴァー

参考資料の探索などは俳諧専攻の牧氏に中心になって頂

き、懐紙や短冊の翻字、目録にするためのデータ入力などは参加者全員にお願いし、最終的には、洪晟準、金美眞両氏に相当の時間をかけて全体を点検し、統合して頂いた。皆さんの御助力に深謝したい。

目録に関して簡単に説明しておく。目録は、「俳書（撮影対象）」「俳書（簡略書誌のみ）」「軸物」「短冊」に大別し、それぞれの中で通し番号を振った。「俳書（撮影対象）」は、一〜一五二、「俳書（簡略書誌のみ）」は三〇一〜四六三という変則的な番号になっている。本来、「俳書（撮影対象）」と「俳書（簡略書誌のみ）」は一つに統合して、一から切れ目なしの番号を当てるべきである。しかし、作業手順の都合で、最初に撮影対象とそうでないものを振り分け、撮影するものには一番からの番号の付箋を貼り、撮影しないものには三〇一番からの番号の付箋を貼って作業を進め、その後の本の整理（配架の現状）もこの付箋の番号に拠っている。やや不体裁ながらそのままとした。従って俳書の一五三〜三〇〇番は、最初から欠番である。また、目録化の過程で、「俳書（撮影対象）」の五〇、「俳書（簡略書誌のみ）」四三八・四三九等の欠番が生じたことも諒とされたい。また、番号以外にも、あちこちに不体裁な箇所が残っている

が、これもお許し頂きたい。

軸物や短冊の目録には、句などの翻字も載せておいたが、その際に濁点を補っている。また、虫損や手擦れ等で読みがたい箇所は、■のままにしておいた。

なお、観音教寺の俳諧資料を用いた研究に、濱名徳永『房総に伝えられた飛鳥園俳系案内』（芝山博物館、昭和四〇）、久富哲雄「芝山仁王尊所蔵の俳諧資料若干」（『俳文藝』九、

昭和五二・六）、加藤定彦「下里蕪里の俳人玉斧（下）」（『立教大学日本文学』六七、平成三・一二）等がある。

本目録をまとめるにあたり、芝山仁王尊観音教寺ご住職の濱名徳永師には並々ならぬご配慮を賜った。心より御礼申し上げます。

（文責 長島）

俳書(撮影対象)

番号	書名	巻冊	著者・編者	刊行等	備考
1	万延元の歳廿四	半紙本 2巻2冊	随業手撰		紙数 39丁(上) 41丁(下) (23.3cm x 16.3cm) 手紙本 ①「冬日解」、②「春日解」、③「晴野解」、④「飄解」、⑤「猿葉解」、⑥「随業葉解」各1冊 紙数 ①60丁、②31丁、③53丁、④37丁、⑤66丁、⑥39丁 (22.2cm x 15.9cm) 「度解」のみ中本7部葉解を和紙にコピーしたもの。
2	七部葉解	半紙本 6巻6冊			紙数 ①「冬の日」、②「あら野」、③「猿葉」、④「度解」、⑤「随業葉」各1冊 紙数 ①57丁、②62丁、③53丁、④69丁、⑤38丁 (19.5cm x 13.6cm) 「春の日」、「飄」は半紙本をコピーして補ってある(現佚)
3	七部葉解	中本 5巻5冊			紙数 42丁 (19.6cm x 15.1cm)
4	八十八の賀 煮跡の追善	中本 1巻1冊		明治4年	
5	天堂句集	中本 1巻1冊			紙数 37丁(上)、36丁(下) (19.2cm x 13.6cm)
6	文政十二年壬午天堂句附合集	中本 2巻2冊			紙数 附34丁、最28丁、判26丁、季25丁、元26丁 (24.2cm x 16.5cm)
7	随業茶話	半紙本 5巻5冊			紙数 25頁 (16.2cm x 7.6cm)
8	飛鳥園家栄 附 補佐判者歴代	小本 1巻1冊			紙数 35丁 (15.9cm x 10.9cm)
9	栗嶺帖	小本 1巻1冊			①序 発句帖序、②後 俳諧初伝燭稽古、③附 日本六玉川 紙数 ①35丁、②38丁、③17.5丁 (15.3cm x 10.9cm)
10	俳諧燭稽古付言	小本 3巻3冊	①二世桂栢園宗霧 ②天堂翁		紙数 27丁 (17.3cm x 12.3cm)、天堂自筆本
11	天堂談	中本 1巻1冊	天堂	天保12年	紙数 37丁 (17.0cm x 12.0cm)
12	天保七さるの鹿 歳旦	中本 1巻1冊			紙数 17丁 (12.3cm x 14.6cm)
13	友予への葉	半紙本 1巻1冊		明治29年	紙数 20丁 (24.0cm x 16.3cm)
14	三十六人自像	中本 1巻1冊		天保11年序	紙数 19丁 (19.5cm x 15.4cm)、天堂の序(寛永7年)あり。
15	年賀葉草車	小本 1巻1冊			紙数 42丁 (19.6cm x 13.9cm)、天堂自筆本
16	はせを流百々條秘解	小本 1巻1冊			紙数 34丁 (12.5cm x 15.7cm)
17	棧集	半紙本 1巻1冊	蘿隠也有	明和9年序	紙数 73丁 (22.7cm x 16.0cm)
18	随業句簾	中本 1巻1冊		文政11年起筆 明治2年續筆	紙数 74丁 (26.3cm x 18.9cm)、白照台形雨字(天保10年)
19	蕉門形家印伝 全	半紙本 1冊	幻斎	天保9年	紙数 35丁 (22.5cm x 15.4cm)
20	残香集	半紙本 1巻1冊	普	明治11年刊	紙数 7丁 (24.1cm x 17.1cm) 見返しに序文有り。
21	安政四巳年六月日 成田詣文章	中本 1冊			紙数 28丁 (19.6cm x 13.8cm)、天堂自筆本
22	根伝玉之鍵 全	半紙本 1巻1冊			紙数 46丁 (22.9cm x 15.5cm)
23	蕉門秘伝白隠訓 全	中本 1冊			紙数 46丁 (22.9cm x 15.8cm)
24	雪の仏	半紙本 1巻1冊	飛鳥園一豊	文政元年序	紙数 62丁 (22.9cm x 15.7cm)
25	飛鳥園天竺家念仏集	半紙本 1巻1冊	飛鳥園西翁	安政6年序	句評・書翰・一枚摺等々十数点
26	花屋	半紙本 1巻1冊	芝山運人撰	文政元年序	吉岡家親伝由緒伝録の下巻2冊、及び随業発句問題集2冊
27	俳句資料 一括				紙数 68丁 (24.0cm x 17.0cm)
28	吉岡家親伝由緒伝録・随業発句問題集				①「元」の巻、②「雪」の巻、③「利」の巻、④「貞」の巻、⑤「貞」の巻、(上)
29	百箇條秘伝玉之鍵 合本	半紙本 1冊	宗■	安政7年写	⑥「貞」の巻付録、各1冊 紙数 ①32丁、②31丁、③35丁、④39丁、⑤39丁、⑥47丁 (23.3cm x 16.2cm)
30	随業茶話	半紙本 6冊			紙数 103丁 (23.0cm x 16.0cm)
31	今人宛句葉草稿 随業羽人撰	半紙本 1巻1冊	随業羽人撰		

32	蕉門正風仙歌録 上下	半紙本 2巻2冊	花御本風朗	文久2年刊	紙数 34丁(上) 24丁(下) (22.9cm x 15.6cm)
33	芭蕉翁古也集伝	半紙本 1巻2冊	小築庵春樹編 莫作庵三水校	慶応4年蔵版	紙数 ①1丁、②11丁(22.7cm x 16.1cm) 同じ版元と思われる本が2冊ある。①だけ奉納に関する内容あり。
34	蟻塚集遊芸垣巻・俳諧調題録・友すゝめ集	半紙本 1巻1冊	隨筆羽人序	安政5年刊	紙数 14丁(22.7cm x 15.8cm)
35	万部能経律由	半紙本 1巻1冊	下総佐倉道花撰	天明6年序	紙数 25丁(22.7cm x 16.1cm)
36	蓮の話	半紙本 1巻1冊	下総佐倉道中撰	明治19年序	紙数 20丁(21.9cm x 15.5cm)
37	七文屋	半紙本 1巻1冊			桂苑園師保門人帖・桂苑園正統系譜
38	飛鶴園師保系資料				紙数 2枚 本が脱落している
39	百箇條妙解 秘傳玉之鍵 合本		桂苑園写	安政7年写	
40	房総の句碑と俳系	半紙本 1巻1冊	井上椿之介書		紙数 11丁(25.8cm x 18.2cm)
41	アルヤチヤーンセキ 全	半紙本 1巻1冊			紙数 21丁(24.0cm x 17.0cm)
42	俳諧草履 一	中本 1巻1冊	隨筆手譜		紙数 93丁(18.3cm x 12.5cm)
43	俳諧草履十五ヶ条解・玉の鍵・蕉門俳諧秘伝 伝正之藏				本巻別巻三部であるものを一括管理。
44	隨筆草履	小本 1巻1冊		明治5年序	紙数 26丁(13.2cm x 19.8cm)
45	羽人自筆本 織かけの機十六編 今の風	小本 1巻1冊			紙数 49丁(16.2cm x 12.6cm)
46	仁天堂宗匠御評	半紙本 1冊			紙数 17丁(24.4cm x 16.7cm)
47	俳句古文書関係				紙数 48丁 個人的に俳句古文書をまとめたノートである。
48	今の風	小本 1巻1冊	隨筆書	万延元年~慶応元年	隨筆草履 紙数 75丁(16.8cm x 12.5cm)
49	四季吟	半紙本 1巻1冊	飛鳥園一曼序	享和元年序	紙数 50丁(22.5cm x 16.0cm)
50	(欠番)				
51	(手紙)				紙数 手紙3枚、原精用紙2枚(一枚は裏あり) 千葉県山武郡芝山町芝山龍音寺御山主 濱宮徳次撰
52	(資料)				①天室句集(活字の切張り) 3枚 ②天室句集(原精用紙)19枚(18.5cm x 25.9cm) ③隅田川往來8+1枚(24.5cm x 16.7cm)
53	天堂句選	大本 1巻			紙数 原精用紙 12枚
54	飛鳥園匠代句集 他	大本 1巻			紙数 80枚(27.5cm x 19.1cm)
55	源孫集	構本 1巻1冊	隨筆羽人編	文久元年刊	紙数 56丁(21.0cm x 29.5cm)
56	雲霧	構本 1巻1冊	隨筆羽人		紙数 26丁(21.0cm x 29.5cm)、コビエ
57	雲小袖	構本 1巻1冊			紙数 35丁(21.0cm x 30.0cm)、コビエ
58	月見塚集 撰松集	構本 2巻2冊	②宛什撰		紙数 ①月見塚集 48丁(21.0cm x 30.0cm)、②撰松集 45丁(21.0cm x 30.0cm)、コビエ
59	採茶庵形扁二世梅入追善集句集	中本 1巻1冊		享和2年刊	紙数 45丁(21.0cm x 15.0cm)、コビエ
60	無有庵松十通仲集	中本 1巻1冊		安政元年刊	紙数 48丁(21.1cm x 14.9cm)、コビエ
61	玉粒集	中本 1巻1冊	樺岳大筋校	文久9年刊	紙数 58丁(21.0cm x 15.0cm)、コビエ
62	藤の土 全	中本 1巻1冊	之桂撰	天保14年刊	紙数 31丁(21.1cm x 15.0cm)、コビエ
63	田邊花集	中本 1巻1冊	曲流香可川編	蕉永2年刊	紙数 47丁(21.0cm x 13.0cm)、コビエ
64	兩隣吟集	中本 1巻1冊	玉岡道人編	天保9年刊	紙数 41丁(18.3cm x 10.3cm)、コビエ
65	上総一瓢伝御評書	中本 1巻1冊		文久2年刊	紙数 19丁(21.2cm x 15.0cm)、コビエ
66	上総百人一匂	大本 1巻1冊	五穀亀一選撰	安政4年刊	紙数 65丁(25.7cm x 18.1cm)、コビエ
67	芝山俳句	大本 1巻1冊	芝山俳句会	昭和58年刊	紙数 27丁(25.3cm x 18.0cm)、12・1・2・7月号

68	古今俳諧 明治五百個人名録	大本 1巻1冊			紙数 13丁(25.3cm x 18.3cm) 原摺用紙
69	きくの笠	大本 2巻1冊			紙数 82丁(25.7cm x 18.1cm) 苧嶋退善俳諧集、コビー
70	〔羽人ら句集〕				紙数 4枚、コビー
71	苧嶋上人遺傳 全	大本 1巻1冊			紙数 40丁(25.9cm x 18.0cm)、コビー
72	楠園文集	大本 1巻1冊			紙数 21丁(25.7cm x 18.1cm)、コビー
73	附合三句立	大本 1巻1冊			紙数 14丁(25.9cm x 18.1cm)、コビー
74	仮題俳句集	大本 1巻1冊			紙数 15丁(26.0cm x 18.1cm)
75	侍受句集	中本 1巻1冊			紙数 11丁(21.1cm x 15.0cm)
76	仮題俳句集	大本 1巻2冊			紙数 15丁(25.6cm x 36.5cm)
77	肩車 上下	大本 2巻2冊			紙数 上21丁、下40丁(25.7cm x 18.1cm)
78	茂園勝元去不	大本 1冊			紙数 50丁(25.9cm x 18.5cm)
79	妻田連 衆議判句集・〔戸村家文書の内〕	1冊			紙数 ①妻田連 衆議判句集 10丁(26.0cm x 18.3cm) ②〔戸村家文書の内〕 21丁(21.0cm x 29.5cm)
80	常緑集	大本 1冊			紙数 116丁(26.0cm x 18.3cm)
81	馬耳庵遺善 晝日之夢	中本 1冊			紙数 48丁(21.0cm x 15.0cm)
82	俳諧橋園文集	大本 1冊			紙数 10枚(30.0cm x 21.0cm) A3二つ折り袋綴、ボール紙表紙、コビー
83	仮題飛鳥園二世寂阿追善集				紙数 44枚(26.0cm x 18.0cm) B4二つ折り袋綴、ボール紙表紙、コビー
84	問書				紙数 64枚(25.8cm x 18.3cm) B4の二つ折り、コビー
85	評釈春の日	1冊(複製1冊あり)		幸田露伴著	紙数 58枚、A4二つ折り袋綴 2冊共同内容
86	俳林小伝				紙数 47枚(25.8cm x 18.3cm) B4の二つ折り、コビー
87	極れてにをほの伝				紙数 50枚(25.6cm x 18.0cm)、コビー
88	流れ井 寛政三年十評発句会 萬事終一馬退善俳諧集 享和三年				
89	俳諧取抄				
90	天龍山々賦	1冊			紙数 32枚(25.6cm x 18.3cm) B4の二つ折り、コビー 紙数 17枚(29.8cm x 20.9cm) A3二つ折り袋綴 ボール紙表紙
91	飛鳥園資料(①～⑥)	1冊			A4版フオルダー(青) クハニシ ①正誤表 朱筆書入れ有 ②校正書入れ有 ③表紙に「発友正々ミ??用書入れ有 ④13へ～フ以降、文書入れなし ⑤④(26.0cm x 18.5cm) ⑥房総に伝えられた飛鳥園俳系案内附録赤品目録一覧〕 ⑦写真フオルダー(29.8cm x 22.8cm)一枚綴、写真付葉 I. 蕉子採図、II. 7月採図、III. 夕雨採図、IV. 和龍肖像画、V. 一曼肖像画、VI. 貞哉肖像画、 VII. 7月採図、Ⅷ. 採図、IX. 採図、X. 採図、XI. 採図、XII. 採図、XIII. 採図、XIV. 採図、XV. 採図、XVI. 採図、 以上、芝山傳物籠の小冊子 x 4冊(①～⑥)と写真(⑦)を貼り込んだフオルダー
92	俳諧手引草				紙数 A4 26枚、コビー
93	七部十寸鏡、日解 七部集十寸鏡附言				紙数 原摺用紙 7枚(25.3cm x 18.0cm)
94	狂歌敬業集題				紙数 A4 5枚(21.0cm x 29.7cm)、コビー
95	炭録碎				紙数 原摺用紙 23枚(25.3cm x 18.0cm)

96	飛鳥園二世 寂翁遺筆			紙数 50枚 (26.0cm x 18.0cm) B4の二つ折り、コビエ
97	狂歌寂菴集題初編(原本東京安養寺) 天明堂門入妻老字瀧守筆			紙数 12枚 (21.0cm x 15.0cm)、コビエ
98	下総より宮めぐり俳諧紀行	文久元年	捨麩序	紙数 A4 28枚 (21.0cm x 29.7cm)、コビエ
99	俳句之拾繪			紙数 7枚 (28.9cm x 21.0cm) A3二つ折り、コビエ
100	飛鳥園			紙数 (25.8cm x 18.5cm) B4の二つ折り、コビエ ①残番集 5枚 ②飛鳥園俳菴系内 12枚 ③俳諧資料天堂一叟とその周辺 10枚
101	天堂隨筆			紙数 32枚 (23.8cm x 18.0cm) B4の二つ折り、コビエ
102	月見吟集	2冊		紙数 (25.7cm x 18.0cm) B4の二つ折り、コビエ ①飛鳥園七世園孫(西翁) 45枚 ②麓み下し 36枚
103	夜蘭内勳皇仲俳文集			紙数 A4 36枚 (21.0cm x 29.7cm)、コビエ
104	東西夜話			紙数 19枚 (25.8cm x 17.5cm)、コビエ
105	俳諧資料 天堂一叟とその周辺	1冊	矢竹一雄	論文抜刷、ボール紙表紙 紙数 18枚 [玉川園女子短期大学紀要]第四号抜刷
106	百舌園及び飛鳥園の系譜			紙数 9枚 (25.8cm x 18.0cm) B4の二つ折り、コビエ
107	花萱 三世碧島緑天随貞翁句集			紙数 39枚 A3二つ折り袋綴
108	俳句茶法伝			紙数 21枚 B4の二つ折り、コビエ
109	藤の美葉 下巻		隨菴羽入筆	紙数 57枚 (20.9cm x 14.5cm)、コビエ
110	翁一代記事			紙数 19枚 (25.4cm x 18.4cm) B4の二つ折り、コビエ
111	式代宗直置佐百箇條			紙数 42枚 (25.8cm x 18.5cm) B4の二つ折り、コビエ ①隨菴茶話 元の巻(註解) 53枚 ② 雪の巻(註解) 68枚 ③ 雪の巻(二)初篇 29枚 ④ 利の巻(三) 30枚 ⑤ 眞の巻(四) 33枚 ⑥ 眞の巻 附録 A3折四百字註解所繕用紙、ボール紙表紙、コビエ
112	隨菴茶話	6冊		毛筆目録 昭和51年11月20日から作成 紙数 各28枚のうち目録が書かれている3枚だけを撮影。(17.0cm x 25.6cm)
113	飛鳥園資料目録2			紙数 各28枚のうち目録が書かれている3枚だけを撮影。(17.0cm x 25.6cm)
114	俳諧勅伝二十五箇條			紙数 29枚 (19.0cm x 12.8cm)
115	俳書目録			紙数 29枚 (19.0cm x 12.8cm)
116	天守府天鳳宮故実 飛鳥園天堂写			紙数 84枚 (25.8cm x 18.0cm) B4の二つ折り、コビエ
117	貞徳追悼俳諧 勝堂輝吟公堂譜			紙数 19枚 (25.7cm x 18.2cm)、コビエ
118	俳諧手引草			紙数 19枚 (21.0cm x 14.8cm)、原本東京安養寺、コビエ
119	三鳥之真伝			紙数 6枚 (24.3cm x 5.45cm)、コビエ
120	小川洋翁所藏俳書			紙数 (21.5cm x 29.5cm) A4の二つ折り20枚、A3 4枚、コビエ
121	北総俳諧書 いなすゝめ			紙数 47枚 (25.7cm x 17.0cm)、コビエ
122	俳諧取要抄			紙数 ①吟俳諧歌二十支譜 40枚 ②草庵集下巻 41枚
123	木川家俳諧資料			B4の二つ折り (25.7cm x 18.2cm)、コビエ
124	正風勅伝二十五箇条 天堂写			紙数 18枚 (25.7cm x 18.0cm) B4の二つ折り、コビエ
125	矢さしが浦			紙数 58枚 (25.7cm x 18.2cm) コビエ 同一のものが入二つある。125-1、125-2にしておく。
126	俳諧集(仮題) ・ 隨菴集			①文化七年 俳諧集(仮題) 紙数 78枚 (23.7cm x 18.1cm)、コビエ ②文化十年隨菴集二世採茶弄梅
127	笑句法箋			紙数 10枚 (25.4cm x 18.4cm) B4の二つ折り、コビエ
128	伊賀古寺日記			紙数 97枚 (26.0cm x 18.2cm) B4の二つ折り 問題の書あり(128)。同書なので複製は1回のみ。

129	俳諧集				同題の書あり(129)。同書なので撮影は1回のみ。 紙数 78枚(25.8cm x 18.2cm) B4の二つ折り
130	千玉萬珠	飛鳥園二世貞哉序撰	安政5年序跋		紙数 49枚(26.0cm x 18.0cm) 飛鳥園関係寄書 B4の二つ折り
131	伊賀之書五				外題 伊賀之書五歌仙 正花論 紙数 30枚(26.0cm x 18.0cm)、コビエ
132	飛鳥園二世 寂阿一叟追善集				外題 飛鳥園二世寂阿一叟追善集 正副2部の内。 紙数 51枚(25.6cm x 17.8cm) 天理図書館本のコビエ
133	伊賀古芳日記 天・乾				※フナヰル書名は「伊賀古芳日記」とする。ハインダー(黒)、天堂一叟写本 序跋 享保7年/ 嘉永7年写 紙数 96枚(21.0cm x 14.5cm)、コビエ
134	杉家俳別 上下				紙数 上25枚(25.6cm x 17.8cm) B4の二つ折り、コビエ 下25枚(25.6cm x 17.8cm)
135	杉家春帖	白老居杉兩			外題 杉家春帖 紙数 47枚(25.6cm x 18.2cm)
136	七部解十寸瑠囊集				紙数 25枚(25.5cm x 17.9cm) B4の二つ折り、コビエ
137	田毎の日				同題の書あり(137)。同書なので撮影は一回のみ。 紙数 83枚(21.0cm x 10.0cm) A4の二つ折り、コビエ
138	甲戌渡呂俳諧集(仮題)・(仮題)蓬堂追善俳諧集				紙数 ①至福四年甲戌渡呂俳諧集(仮題) 18枚 ②天保九年(仮題)蓬堂追善俳諧集 42枚 (25.8cm x 18.3cm) B4の二つ折り
139	俳諧集(仮題)				序跋年 享和4年・正副2部 各37枚(21.1cm x 14.9cm)、コビエ
140	甲山行・緑五色墨				①甲山行 28枚、②緑五色墨 26枚、(25.6cm x 18.0cm)
141	(仮題)渡旦				天保十五年 (仮題)渡旦 紙数 82枚(25.7cm x 18.2cm)、コビエ
142	(仮題)渡旦				天保十五年 (仮題)渡旦 紙数 82枚(25.6cm x 18.2cm)、コビエ
143	(仮題)俳諧集・俳諧要録				①副本あり、コビエ ②雨松消次道人梅丸編
144	三考はむひ草				紙数 16枚(25.5cm x 18.0cm)、コビエ
145	天明四年刊 白兔余稿要録				紙数 27枚(25.7cm x 18.2cm)、コビエ
146	俳諧集(仮題)・隠箕集				外題 ①文化六年俳諧集(仮題) ②文化十年隠箕集 紙数 ①50枚 ②29枚(25.6cm x 18.0cm)
147	俳諧集(仮題)				文化十五年 俳諧集(仮題) 副本 玉川学園図書館コビエ 文(1)15年 六世飛鳥園随世及び飛鳥連の句あり 正副あり(これは副) 紙数 56枚(26.0cm x 18.2cm)、コビエ
148	俳諧集(仮題)				紙数 54枚(25.7cm x 18.1cm)、コビエ
149	俳諧茶譜資料				紙数 128枚(25.9cm x 18.5cm) 128枚のうち、58枚はサ(ズ)り違う。
150	飛鳥園関係俳人 あーそ迄				紙数 280枚(25.8cm x 18.7cm)
151	飛鳥園関係俳人 た以下				紙数 249枚(25.8cm x 18.7cm)
152	天守府天鏡宮故実 飛鳥園天堂写				紙数 84枚(25.3cm x 18.1cm)、コビエ

俳書(簡略書誌のみ)

番号	書名	巻冊	著者・編者	刊年等	備考
301	きく小そて	半紙本1冊	高明透吳編	幕末明治	
302	としごと集	半紙本1冊	慶堂編か	天保10年 安政3年序	北村廉興行等、伊賀右文の立句での連句等
303	ひともと集	半紙本1冊		文久元年序	
304	別冊集	半紙本1冊	井貝松雪梅規 為雄梅白誓序	幕末刊	写、発句集に点
305	冬てりいどま	半紙本1冊		明治10年序	
306	根なし雲	半紙本1冊	松進序	文久2年序	
307	さいさき集	半紙本1冊		安政4年冬跋 同年冬跋	
308	其望集	半紙本1冊		安政5年	
309	五升塚集	半紙本1冊		安政4年冬跋	
310	南無々々集	半紙本1冊	西馬序	安政4年冬跋	
311	このはつと	半紙本1冊	更科舜主人耕一序	慶応元年9月序	
312	三ヶ松集	半紙本1冊	さく守身外序	同年冬跋	
313	糸川集 後編	半紙本1冊	武藏野天園隠逸淵	安政4年冬序	
314	穂葉集	半紙本1冊	江戸牧山居士撰	西馬跋	
315	かくれみの	半紙本1冊	上野州波山和保阿(箱首)序	文化10年序	巻頭 梅室
316	掬香帖 四編	半紙本1冊	一山居計風編 孤山人毛郎序	天保13年	
317	知且仏道善さくら草集	半紙本1冊	信傳彌元庵而足編 孤人毛郎序	慶応元年8月序	
318	百樹集	半紙本1冊		壬戌序	
319	かめのをしふ	半紙本2冊	等菴編	慶応5年8月序	
320	いちりつ集	半紙本1冊	得葉編	弘化4年暮跋	
321	しどのめ(真露集)	半紙本1冊		明治14年	
322	〔排難秀逸発句集〕	半紙本1冊			天保15年の葺香庵蔵目か
323	としなみしふ(年渡集)	半紙本1冊	柿通南々序	弘化2年	
324	あかつきのわかれ	半紙本1冊	田松春編	天保7年序	得々庵、葺道善
325	きん日和(北国日和)	半紙本1冊	雲袋編か、金石序	明治4年	
326	〔半青居新冊類聚句集〕	半紙本1冊	為山序	文久2年	
327	囀はしめ	半紙本1冊	卓郎跋	嘉永5年跋	
328	櫻弓集	半紙本18編18冊			11編～28編か、見外編か
329	芭蕉徳正伝	半紙本1冊	竹二清著	寛政10年序	
330	藤かね集	半紙本1冊	橘秀菊堂編	万延元年序	黒土芳居士道善
331	いまのめ集	半紙本1冊	藤胡編		菊守見外
332	半冬つしふ	半紙本1冊		安政6年晩冬序	
333	花狂集	半紙本1冊	杉壘山人石友編	文久元年3月12日会	
334	恋集帖	半紙本1冊			題字成美書 巻頭見外、辛酉
335	おじまつき	半紙本1冊	梅間入為山	元治元年7月12日序	
336	漁村文話	半紙本1冊	海保元備著	嘉永5年刊	
337	同上	半紙本1冊		明治11年刊	
338	漁村文話続	半紙本1冊		嘉永6年刊	
339	同上				

340	同上						
341	遊水集	半紙本1冊			明治20序跋		明治以降の祭名書目、末尾にあり
342	胡蝶箱の目集	半紙本1冊			天保8年刊		広部守黒小洋急追善
343	<俳諧/発句>抜群集	半紙本1冊					
344	松心集	半紙本1冊			文久2年序		阿部藤斎退善
345	三千代くさ	半紙本1冊			明治27年刊		嵯香瓦齋居士遺稿
346	雪のあけほの	半紙本1冊			寛政12年刊		獅子窟藏板か
347	かさかけ	半紙本1冊			嘉永6年序		
348	葵の板	半紙本1冊			嘉永6年		
349	今人俳諧千題発句集	中本4冊			天保9年6月跋		
350	梅室家集	中本2冊			天保7年8月序		
351	俳諧明治八百題	中本1冊					
	受齋集覽						
353	新撰詩学活法	小本2冊			明治15年7月3日 明治28年11月25日初版 明治43年2月20日再版		諸寺塔依養記
354	多海手箱集	半紙本5冊					
355	[句合稿]	半紙本2冊					天隨防評・龍眠堂評・春柳庵評・香妻庵評・雪竹庵評 各宗匠1冊ずつ5冊
356	月次衆議判春三題句合	半紙本2冊					飛鳥園評・紫石庵評 各宗匠1冊ずつ2冊
357	四季乱句題	半紙本2冊					隨美評・臥龍庵評代築都園評 各宗匠1冊ずつ2冊
358	哉隨集羽人翁新益壽燈句合	半紙本3冊					築波庵評・有無庵評 各宗匠1冊ずつ2冊
359	月次発句合	半紙本1冊					隨美評・白梅堂評・隨白舎評 各宗匠1冊ずつ3冊 千田全昇月、向上庵評 1冊
360	春三題句合	半紙本1冊					桂苑園評 1冊
361	聞春短前月並壽燈句合	半紙本1冊					東谷社植風、飛鳥園評
362	<八幡宮/妙見宮>西陣守永代奉額句集	半紙本1冊					四季乱題
363	<国吉町/妙見宮>	半紙本1冊			明治39年8月		企 晴月・梅月
364	はまれの集	半紙本3冊					隨美羽人評・桂苑園宗儒評・二国塙■仕評 各宗匠1冊ずつ3冊 坂田区全主木川配手、柳々庵評
365	弘風合巻四題句合	半紙本1冊					上企 温故・錫辨
366	八坂神社奉額句集	1枚					企 櫻空・有一・梅月・清涼・遠月
367	廣台山本堂永代奉額巻句	半紙本1冊			大政3年1月7日		
368	哉四世隨集翁新益壽燈句合集	半紙本1冊					
369	<真村/下原> 遠方院隨故祖母新靈壽燈句合	半紙本1冊			明治37年8月		
370	基礎院園岳文源居士新益壽燈句合	半紙本1冊					
371	大徳堂永代奉額句合	半紙本1冊					企 見春初心連、白瓦房評
372	新益壽燈の集	半紙本1冊					
373	柴屋判句集	半紙本1冊			大正9年■白開巻		
374	四季波題	半紙本1冊					給木羽明、良龍庵評
375	福風舎御導師御加味	半紙本1冊					門人松木羽取
376	福壽泰 五世涼葉及四世涼風舎嗣号	半紙本1冊			大正33年9月13日		祐徳庵上一一題
377	四季景題句體	半紙本1冊			慶応2年夏6月		随時在中南北面総連

378	隨筆語錄(二)〔ナ〕	半紙本16冊	隨筆羽人(隨筆字體)		字・磁粉色生地の表紙 外題 (表、原、左) 第2冊 蕪永句集(蕪永元) 第3冊 蕪永二句集(蕪永2) 第5冊 蕪永句集(蕪永3) 第9冊 (蕪永4～5) 第13冊 蕪永六句集(蕪永6～7) 第14冊 蕪永七年句集(蕪永7) 第15冊 蕪永七句集(蕪永7) 第16冊 安政二句集(安政2) 第17冊 安政二句集(安政2)〔仮綴「初冬より」〕 第19冊 安政二句集(安政2)〔安政4～5〕 第21冊 安政六句集 十一(安政4) 第27冊 立久二句集(安久2～3) 第28冊 立久三句集(安久3～4) 第29冊 元治元句集(元治元～2) 第30冊 慶応元句集(慶応元～2) 第35冊 明治三句集 三十五(明治3)
379	俳諧連句草稿	半紙本11冊	隨筆羽人		写・磁粉色生地の表紙 外題 (表、原、左) 俳諧連句草稿 六(蕪永元～5) 俳諧連句草稿 八(蕪永6～7) 俳諧連句草稿 九(蕪永7～安政3) 俳諧連句草稿 拾(安政3～安政5) 俳諧連句草稿 十二(安政4～6) 俳諧連句草稿 十三(安政6～慶応元) 俳諧連句草稿 十四(万延元～文久元) 俳諧連句草稿 十五(文久元～元治元) 俳諧連句草稿 十六(元治元～慶応2) 俳諧連句草稿 十七(慶応2～3) 俳諧連句草稿 十八(慶応3～明治2)
380	[其峰魚文高評其筆句集]	半紙本よりやや小さ い1冊			別帖袋
381	一叟高評句集	半紙本よりやや小さ い1冊			別帖袋
382	在巖羅雀雪庵好評	半紙本よりやや小さ い1冊			月並句会、別帖袋
383	無々處	半紙本よりやや小さ い1冊			眠雪庵好評月並句会、別帖袋
384	南平素雪	半紙本よりやや小さ い1冊	催主土木、雪花		別帖袋
385	[十世飛鳥蘭運句稿]	小本6冊	飛鳥蘭一叟・一樹園齋我ら作	享和2年臘月朔巻	
386	林頭 早引茶句集	中本2冊	敬所居士、頓田和政		
387	名所茶句集	中本4冊		寛政9年11月	
388	新刊題先句集	中本4冊	蝶夢編		
389	近世俳諧 十家類題集	中本1冊			

390	俳諧茶葉	中本1冊	白紙編			写
391	古今俳諧 明治五百題	中小本2冊	重訂茶煙 橋田善洲三森軒撰撰	明治12年9年跋		
392	淺川早引集	中本3冊	夢久二世百委撰	享和3年序		
393	親睦茶句真意集	中本4冊	東山九起撰	弘化3年春序		
394	十一世弋國知來居士呈福并 副家披露四季三句合	半紙本1冊			同一本が2冊有	
395	酒齋(たのおみけ)集	半紙本1冊	隨筆羽入編	文久元年11月序		
396	桜齋集	半紙本1冊	東栲庵編	安政6年春序		
397	俳諧今七部集 上	中ノ本1冊				
398	松の皮	半紙本1冊	朱朝聖士朗			
399	すみたはら 下	半紙本1冊		元禄7年6月		野波・孤塵・利牛
400	机の塵	楨本1冊				写
401	尺牘集夏	中本1冊		安政5年刊		
402	附得まつり	中本1冊		明治11年刊		
403	おちほ龍	半紙本1冊				刊
404	掌中安政附合集	楨本1冊				刊
405	類型採風集 上	中本1冊		嘉永7年刊		
406	腰の寒集 上	中本1冊				刊
407	十一世飛鳥園宗匠嘉奇初賀句集返草	大本1冊		明治12年刊		刊
408	芝山觀音寺本堂改修殘廢記念	大本1冊				刊
409	百香歌合	大本1冊				写
410	月次祭句集	半紙本1冊				刊
411	香園帖	半紙本1冊				刊
412	夏の夜	半紙本1冊				刊
413	蕪水句集	大本1冊				写
414	赤木振四郎 全	半紙本1冊				刊
415	冬構集 乾	半紙本1冊				刊
416	醫者居士追善	半紙本1冊				
417	権の蔭	半紙本1冊		嘉永5年刊		
418	番山居士追善	半紙本1冊		明治11年刊		
419	輪かさり	半紙本1冊				刊
420	駿河名所図会 俳諧親野集	中本2冊				
421	俳諧一葉集	中本2冊		嘉永元刊		
422	俳諧五百題	小本2冊		文政10年刊		
423	俳諧新選明治六百題	小本2冊		明治33年刊		
424	俳諧七百題	小本2冊		明治12年刊		
425	俳諧七部集	楨本2冊		明治20年刊		
426	俳諧今人五百題	小本2冊		弘化4年刊		
427	今人五百題	小本2冊		天保12年刊		
428	七部集大鏡	中本7冊				
429	勝句集 第四編	中本1冊		文化7年刊		写
430	良材集 冬下	中本1冊		安政6年刊		写 紙欠

431	俳諧今人一千二百題集	中本1冊				刊
432	俳句集	中本1冊				写
433	古今五百題発句集	小本1冊				刊、表紙欠
434	俳家選集 天	小本1冊				刊
435	俳諧所名集	小本2冊		文化7年刊		写
436	折書	中本1冊				写
437	歌行■の巻	小本1冊				写
438	(欠番)					
439	(欠番)					
440	現今宗匠撰句百家集	小本1冊		明治16年		
441	俳諧田ごとの日	小本1冊				
442	杜和歌七部集 三編上	小本1冊				
443	嬰明翁遺稿	中本1冊		大正4年		
444	自遊 俳諧表八章部類	楨本1冊		明治12年写		写
445	養楽しの巻	中本1冊				写
446	盆の月の巻	中本1冊				写
447	勝句連語三	中本1冊		寛永年間写		
448	佳語雜紀	中本1冊		大正頃写		
449	一嬰明句集	中本1冊		昭和9年写		刊
450	猿蓑さかし 巻の一	中本1冊				刊
451	四季発句集	楨本1冊				刊
452	ふる頌	半紙本1冊				刊
453	ふゆつはき押	半紙本1冊				刊
454	空閑居士遺善	半紙本1冊				刊
455	芳年集	半紙本1冊				刊
456	秋の花づま	半紙本1冊				刊
457	望の桜	半紙本1冊				刊
458	旅のひとづ	半紙本1冊		天保甲辰刊		刊
459	したもえ	半紙本1冊	五波序	安政5年春刊		刊
460	通水居士遺善	半紙本1冊				刊
461	■■■■	半紙本1冊		天保3年序		刊
462	もゝ鼓	半紙本1冊		安政9年春序		刊
463	はなとり	半紙本1冊		文化7年2月序		刊

植物

番号	名	翻字	寸法	備考
1	蕪村	壬生寺の蕪うらみ唄けおほる月 白日くれよ夜は夜あけよ七情結 こゝろありや入月見もどけりちるまき	65.5cm x 28.6cm 28.0cm x 12.9cm	壬生山科屋がもとにて併置懸有ける時
2	蕪村	此雨はのつ引はらしほまどきす とどしとしをしもふるしとどもかつて次第にくれてゆけゆけ 蜀山人	64.0cm x 31.2cm 21.0cm x 45.0cm	扇面最大長
3	一茶		104.5cm x 50.0cm	
4	蜀山人		14.5cm x 48.3cm	
5	蜀山人(乃水あて)		25.0cm x 37.9cm	
6	元龍画(芭蕉翁句)		33.9cm x 5.2cm	
7	元龍画(芭蕉翁句)		15.7cm x 51.1cm	
8	杉風四季句(白梅)		35.5cm x 5.5cm	
9	杉風四季句(白梅)		30.5cm x 34.7cm	
10	杉風四季句(松通の)		23.5cm x 16.0cm	
11	芭蕉書前(杉風あて)十七日		14.9cm x 41.7cm	
12	杉風句文(奥の細道出立前)		103.0cm x 28.7cm	
13	野坡あて(旅人書簡)		93.5cm x 29.0cm	
14	芭蕉翁(梅堂画、香乳翁)			
15	其角 はせを、嵐雪句面(空山画)	はつしぐれ寝も小みのをほしけも 香乳翁 日の春をさすがり鶴の歩かな 其角 しほらくは花の上なる月夜哉 はせを ふと八瀬で寝たる姿や東山 嵐雪 八十の春をむかへる つれめん / けさやはじめの老がさね 杉風翁、天宮拝画		
16	天宮画(杉風句)		91.3cm x 27.8cm	
17	宗溥短冊		16.2cm x 5.7cm	
18	蕉門十哲画幅		132.3cm x 46.3cm	
19	初代白虎圖より五世迄及び二世飛鳥蘭書跋	①蕉中■空 白虎圖 初代也 ②旅仕ノ吟 船路や星から横で流れ川 一雙 二世白虎圖也 ③幽林にも響る白や冬牡丹 宗溥 三世也 ④麻花かなと日ほくるゝ地 輔爾た不仁に日を見て田打哉 四世白虎圖也 ⑤葉の風あかまは月の出分地 南無坊 二世一雙也 ⑥花なれや葉の似似たり 宗溥 五世也 ⑦(複製して見えず)	57.4cm x 21.6cm 90.0cm x 28.9cm 29.5cm x 44.9cm 63.1cm x 26.5cm	
20	芭蕉翁指像及び翁の句	はつ時雨葉も小雀をほしげなり はせを、飛鳥蘭拜書	57.4cm x 21.6cm	
21	芭蕉翁指像(秀句)、声聞庵三世高田逸叟書	しぐるゝや田のあら株の黒もほど、土前拜書	90.0cm x 28.9cm	
22	芭蕉翁指像	花の風韻に似たる旅寝かな 芭蕉受押	29.5cm x 44.9cm	
23	芭蕉翁指像(木版)置向(因澤)貞翁		63.1cm x 26.5cm	
24	その女、天宮、雁渡寺句、真哉画		40.8cm x 52.3cm	
25	七拍十二絶の伝 古字集七ヶ巻伝		17.3cm x 148.5cm 16.2cm x 466.0cm	○七拍十二絶の伝 柏の名目、姫の名目 ○古今集七ヶ巻伝 和歌三神(住吉大明神、天照尊大神宮、玉津島大明神) 三鳥(呼る鳥、百千鳥、相負鳥) 物名の三箇(御覽玉の木、葦花伝、河名草) 都鳥、椿家人丸伝、山辺赤人伝、小野小町伝
26	天宮翁指像(上七俳句短冊3枚賛付)	「露も実に入るやはらはらこぼれけり 天宮老人他 露世 我仏雪にお仏あるものを 右 天宮鳥翁拜 病世 郵公いであかるき面を空 我鳥翁拜 病世引鳥翁 兼てよりかたみだす葉ながら長もかなしと願ふ命毛 飛鳥居士 ふり依のひた草に咲傳り花也」	92.9cm x 27.8cm 短冊3枚35.4cm x 5.8cm 88.4cm x 26.4cm 58.7cm x 25.1cm	色紙18.3cm x 14.1cm
27	飛鳥蘭三首翁居士指像及翁世の句			
28	飛鳥蘭三首翁阿居士指像及翁世の句			
29	飛鳥蘭六世翁世一雙句文			

30	天宮・春雨や・松島や・どら糰ても 三句 面立種草拵								
31	蕉翁返(梅屋)	古池やかはづ飛こむ水のおと 梅室素心桂書併写							
32	藤菊翁(梅屋)	いかにめしき書であられのひのきかそ							
33	芭蕉翁六徳(俳梅道人書及画)								拓本
34	桂風園庄松系図								大十有
35	芭蕉/杉風/窓阿/二世宗瑞/貞翁 五哲之図(漢堂画、天宮書)								102.6cm x 45.3cm
36	芭蕉翁肖像 露中寺八幡殿百川写 句讀貞翁(木版)	雲おり／＼を休る月見かな							40.6cm x 15.7cm
37	真角堂水鏡面鏡	もといはで静ん実や 蝸牛 誓永徳							79.4cm x 27.5cm
38	梅室壽壽梅旦一句及び松竹之図	壽壽梅旦 早々よころこひきよぬはつ梅 梅室 乙巳試筆							33.0cm x 59.8cm 背面に野辺の人入あて大島貞實書簡あり。
39	二世茶屋梅人句文	は日影松の位のいかほどぞ 他							32.8cm x 50.1cm
40	杉家歴代句讀拓本(装)	嘉永五年五月							114.0cm x 64.6cm
41	一樹園二冊 深切庵墨々合作書画	松翁新月 一樹老人 暮々またこのおかぬありそらのつき まさ雉 もの言へば春葉し秋の風							130.3cm x 49.4cm
42	芭蕉陸奥及詞語付芭蕉句 束納増水画及書	うかうかとして年寄ぬきりまじりす 風葉							111.4cm x 30.6cm
43	風葉(白鳥宗瑞の別号)								55.6cm x 27.1cm
44	飛鳥園十二世本末遠辺御次常連状								38.7cm x 70.6cm
45	飛鳥園通字讀受状								27.7cm x 40.2cm
46	月白禿の返五世飛鳥園別名(不老)貞敬居士筆	飛鳥園天老面							42.6cm x 53.4cm
47	飛鳥園三筆兼終正面(①)及び側面(②)、拓本、捺紙 妙立寺境内	①新書 われら鷹にも仏有るものを ②天徳院利山庵徳居士 半井佐富貞翁書 文化十四丁丑十一月廿三日							①116.9cm x 44.7cm ②1102.5cm x 24.2cm
48	芭蕉翁紙巻 飛鳥園貞翁拜書天隨房貞翁拜画	栞巻は四角な形を笠の月 はせを							66.6cm x 29.2cm
49	五世飛鳥園一雙貞哉九句	稲葉や出葉つて居るは伊豆の鷹 他							15.5cm x 39.3cm
50	遠元院通引傳本信士自傳及び病中雜筆の吟、飛鳥 園五世兼九拜号あり	病中雜筆吟 きるときは斯かも安るへし蓮の花 水無月廿七日 東祐徳文長							87.8cm x 26.7cm
51	友川寛(面鏡)猿投月の図 圓鏡翁羽人眞猿猴の纏る柳や鬮影	猿猴の纏る柳や鬮影 八十有七歳圓鏡翁羽人							86.6cm x 29.6cm
52	二世羽人正和筆、弄紙之記								44.3cm x 55.9cm
53	金剛舎■地 浮雲の道ひ／＼に行西丸真 多古筆 師書境内地の中 拓本	浮雲の道ひ／＼に行西の奥 金剛舎■地							67.5cm x 67.5cm
54	初代茂種業石(装) 拓本	茂種日従上人 塚木や己が研に掃かへり							72.4cm x 34.5cm
55	五世飛鳥園人(後江太師)	茂種武藏 縁の風は茂る春枝を頷ひけり 五世圓巢羽人							50.1cm x 20.6cm
56	二世茂種の人 大慈寺境内	打さしに我は馬なり花の雲 二世茂種							69.1cm x 43.3cm
57	光壽翁の二句	もたら居る机のうへも師走かな 他							27.6cm x 29.9cm
58	飛鳥園一門寄せ書七世か	題(屋中書字)							144.2cm x 59.8cm
59	飛鳥園南茶園	新製作成、マソウインク書き							176.0 cm x 79.2cm
60	飛鳥園厚代俳系観座	新製作成、マソウインク書き							26.5cm x 79.9cm
61	飛鳥園雁代俳系観座	新製作成、マソウインク書き							79.3cm x 108.6cm
62	飛鳥園七世公羽一雙八日市場市内山妙光寺境内 誓はれしこゝろもどりぬ夜の花 文久三年雨月建 立 拓本	誓はれしこゝろもどりぬ夜の花 七世飛鳥園西翁一雙							133.0cm x 68.3cm
63	飛鳥園飛雲の御挨拶	新製作成、マソウインク書き							79.0cm x 109.0cm
64	初代飛雲翁人種神集句題	種神集句 どの株もおなじとじりや福寿草 八十有七歳圓巢羽人 文久甲子春							36.4cm x 50.4cm
65	種神集句の句他三句題宗羽人、八十七才筆	どの株もおなじとじりや福寿草 他							66.0cm x 31.0cm

66	舟鷹あなかの図の黄句 八十二巻函巻羽人	舟鷹あなかの図 たるふて渡るをいそぐ者の輪かな 鷹の二竜葉朽栗夏 八十二巻函巻羽人	91.0cm x 29.0cm	
67	米舟羽人巻句三句	もたれ居る机のうらも師主かな 他	29.0cm x 32.0cm	
68	いざちうかかねて望の秋の雲 拓本	いざちうかかねて望の秋の雲 晴軒南斗 弘化丁未十月路之	65.5cm x 68.8cm	
69	落葉にものひ八日市塚内山卯光寺境内 拓本	落葉にも石かなるしぐれかな 不忍	136.0cm x 68.6cm	
70	(他例) 飛鷹函巻世代出身およの居住地 臣葉新句 碑及び飛鷹函巻句牌所在地	新しい地図に書き込み	80.0cm x 105.0cm	
71	函巻羽人と弟子の一芳・墨雄との連句 拓本	備はるよ是も阿年の松に梅 一芳 日々麗やかなねの備る庭 墨雄 春風遠く近くの人むれて 羽人	99.0cm x 68.0cm	
72	伊藤翁掛銘 拓本	随展羽人二世松永正朔五道斎存掛銘	111.5cm x 59.7cm	
73	飛鷹函巻二世阿一曼経世 井戸山樂師寺境内 拓本	辞世 ほと、きすいでや明るき面の空 南無妙寂阿	99.0cm x 69.7cm	明治十一年仲春、×モあり
74	啄木庵茂鷹墨碑銘表面 拓本		57.6cm x 36.4cm	
75	嵐雪拵申	安永八己亥九月八日化終日 神楽不測 母方勝之 梅九日兼 別立斯塔 舍利在茲 建塔勸修	35.0cm x 5.4cm	
76	宮蕉句題 〇書面	都甲て藍だち置む朝まなき 嵐雪	87.9cm x 31.8cm	
77	国方蘭加子年代装繪版面	すてしよや麗むの朋を懐せゝる ばせを 加前の国千代女 朝顔につるゝき べらも水	70.1cm x 23.7cm	
78	不白自題箋	追かけて恋仏蘭けりほちたゞき 不白	98.8cm x 15.2cm	
79	赤田野波色紙	秋の香残を馬上に吟するとして 小童のゆく道ながし秋の峯 樗老人野波書	18.6cm x 18.0cm	
80	井上土朗 菊の自題箋	ねを宿のどほくにはほしやきくの花 土朗	101.2cm x 28.8cm	
81	松長者五人肖像および句	花に出て行々果はものと道 松長者法入没	73.0cm x 28.5cm	弘化二年乙巳正月二日 行辨四十四歳
82	枕山・柳園・外三氏合作	蘭の寄図に渡詩句の賛	134.0cm x 61.5cm	
83	明治五年以前成立俳句俳面寄書一巻	泰嗣玄圃贈玉川(贈海道人筆)	492.8cm x 28.5cm	×モあり
84	西面巻茶箱	「東国茶箱」の佐緒とあり	98.1cm x 29.6cm	
85	愚仏俳句	夏の赤や相違に茶ふて養あさし	84.4cm x 27.3cm	
86	松守蘭院外 扇面三句	名目や芋ぬす人の行未見し 青羅	93.5cm x 10.3cm	
87	松守蘭院外 扇面三句	雨高ひやくや風の吹まほし	25.9cm x 55.1cm	
88	からす瓜画賛(文庫画・響太鼓)	里もかててほさひしからす瓜 雪中庵	31.5cm x 45.7cm	
89	美濃派西風拵句	わかやとこの雨にまじりて散落葉なげばくゆりてかゆもにされず 無題	90.1cm x 22.8cm	
90	神山無題箋	物の御種子尺で軒端りかな 白蓮	62.2cm x 22.4cm	
91	春秋権白題拵句 詞書付	水責はか	29.0cm x 48.4cm	
92	戸水巻句	大子のかとじならば去雪のちしぬとちうらみながらむ 扇平	133.5cm x 33.0cm	
93	海上蓮舟秋歌	春風を尽きぬ天地の恵みかな 永湖	138.6cm x 39.4cm	
94	永湖画賛(句)	玉手准まぬ錦売り弘の暮るゝ春 露影	127.8cm x 30.1cm	
95	松本鑲形句 松野明色面		134.4cm x 34.6cm	
96	杖石画射の栴図		48.2cm x 55.3cm	
97	玉屑画内林		31.8cm x 45.2cm	
98	蓮彦奈句	水削浪洗田笠願 春日や松葉旗でもあそぼるゝ みち彦	30.8cm x 43.0cm	
99	柴田彦葉三保の羽衣之図	世の中に簪そふなればかゝしかな 無題 居士書	22.3cm x 30.6cm	
100	無題 居士巻句	花なりし世をばりて捨揚主 立圃書	137.1cm x 33.8cm	
101	立圃巻句	腕子の手本も阿松七字巻	26.5cm x 41.3cm	
102	其株自題箋	一夜緑林春夢醒 秋月下却念情 河清歌徹子如水 蓬葉綴埴絹六更 杏庵	28.8cm x 29.4cm	
103	吳春面・楳谷坪賛 後巻栴図		103.0cm x 40.9cm	
104	二錢一葉圖 細工之図		108.0cm x 47.7cm	
105	手鏡自題箋	我鏡の跡とりにせしん閑古鳥 手鏡子	39.4cm x 25.3cm	

短冊

番号	名	和歌	翻字	備考
1	梅室	後室のさいくか御我の帯織		
2-①	一豊	我まゝな風に柔和な柳哉	我まゝな風に柔和な柳哉	
2-②	一豊	かごとりと空を冠りてはるの月	かごとりと空を冠りてはるの月	
2-③	一豊	花を目にゆけばはかくある柳哉	花を目にゆけばはかくある柳哉	
3-①	雨仕	朝がほのちらぬもあはれ初あらし	朝がほのちらぬもあはれ初あらし	
3-②	雨仕	見るからに月をいたすく野中かな	見るからに月をいたすく野中かな	
4	その女	春もまた芽で■のそ穂の月	春もまた芽で■のそ穂の月	
5	乙二	菜の花の中や手に持獅子頭	菜の花の中や手に持獅子頭	
6	土朗	梅がゝや救の中まで種ちざり	梅がゝや救の中まで種ちざり	
7	丁知	正月や影に草木も日本ぶり	正月や影に草木も日本ぶり	
8-①	十世飛鳥園鳳舟一豊	極楽や縁の支度やほし供養	極楽や縁の支度やほし供養	
8-②	十世飛鳥園鳳舟一豊	天気がし都合もなかくて戴ひらき	天気がし都合もなかくて戴ひらき	
9-①	飛鳥園五世眞澄	留守にした一日庵の落葉哉	留守にした一日庵の落葉哉	
9-②	眞澄評	鳥渡る度に暮るや伊弉山	鳥渡る度に暮るや伊弉山	
10-①	桂宮巫姫	山嵐に引かれてかゝるや花の宿	山嵐に引かれてかゝるや花の宿	
10-②	桂宮巫姫	よき酒を盡の種すや露む空	よき酒を盡の種すや露む空	
10-③	桂宮巫姫	檜一と葉ふたは持て来る時雨哉	檜一と葉ふたは持て来る時雨哉	
11	風外	うの花や一筋道をうちとて外	うの花や一筋道をうちとて外	
12	香乳	冷やりとして強くなるやほとゝぎす	冷やりとして強くなるやほとゝぎす	
13	十三世飛鳥園一豊	唯かけし婢や子供の影に隈ぶ	唯かけし婢や子供の影に隈ぶ	包み紙には「十二世」とあり。
14	伊藤正和(二世随兼)	京の赤飯んでふじをや相讓とり	京の赤飯んでふじをや相讓とり	
15-①	五世随兼羽人鈴木近太郎	土佐が縁の泣きも若き花野かな	土佐が縁の泣きも若き花野かな	
15-②	五世随兼羽人鈴木近太郎	婦無名思のはき聞れし草鞋哉	婦無名思のはき聞れし草鞋哉	
15-③	五世随兼羽人鈴木近太郎	陸路で着のうにかす今朝の露	陸路で着のうにかす今朝の露	
16-①	初代随兼羽人	啼かして居廻もかへぬ水端かな	啼かして居廻もかへぬ水端かな	
16-②	初代随兼羽人	今解んだ雀もささし郭公	今解んだ雀もささし郭公	
16-③	初代随兼羽人	燕子花回廊の塵も掃兼る	燕子花回廊の塵も掃兼る	
16-④	初代随兼羽人	今の舞いま忘れり郭公	今の舞いま忘れり郭公	
17-①	初代随兼羽人	塵もまた月の衣なり憑穿ひ	塵もまた月の衣なり憑穿ひ	
17-②	初代随兼羽人	郭公さくらの馬蹄も見て通る	郭公さくらの馬蹄も見て通る	
17-③	初代随兼羽人	旭のあたる浮葉や近いなつかしみ	旭のあたる浮葉や近いなつかしみ	
17-④	初代随兼羽人	朝は見てひるはなめる柳かな	朝は見てひるはなめる柳かな	
17-⑤	初代随兼羽人	はづ袷肌纏れるをりに纏る	はづ袷肌纏れるをりに纏る	
17-⑥	初代随兼羽人	壁間のするどくはやし秋の風	壁間のするどくはやし秋の風	
18	小河厚雨雄	ひとりふふふたりふる梅のお裳かな	ひとりふふふたりふる梅のお裳かな	
19	癒茶	すゝきを語る歌そよぐ竹ど竹	すゝきを語る歌そよぐ竹ど竹	
20-①	天竺一豊	あきのくれるしになる子の降り待	あきのくれるしになる子の降り待	
20-②	天竺一豊	春さして大事になつや燕子頭	春さして大事になつや燕子頭	
20-③	天竺一豊	浮世にあきた人のたく奴連哉	浮世にあきた人のたく奴連哉	
21-①	葵白	塵は友とおもふか今朝も来る	塵は友とおもふか今朝も来る	
21-②	葵白	節介の思も直付ぬ塵かな	節介の思も直付ぬ塵かな	
21-③	葵白	名目やいつ芽て奈にかたつぶり	名目やいつ芽て奈にかたつぶり	
22	月林	さほ蝶のきりも顔の團山	さほ蝶のきりも顔の團山	

22-①	可月	たま／＼かふする小春にありに確氷哉	
22-②	可月	朝がほや今年ばかりほなみたま	
22-③	可月	栄耀にもふかせてみたし春の風	
24-①	広徳山人	初雪の日に纏りて御玉かな	
24-②	五傳堂	我一つこゝろひてや初日の出	
25	風船	いかづちに流石間踏のひびけ咲	
26	二代桂英園(石井桂翁)	あけぼのはたさづきさしほどゝぎす	
27	明る夜や花に遠のく水の音	松のまゝ直ちのさまる眞深風	
28-①	松什	ゆるがほやいよ／＼暮る月の影	
28-②	白羽	時雨けり悪津が風の木の間より	
29	墨芳	春風の馬車歩行日永かな	
30	季内三世宗瑞	花活で用の済けるはつ恰	
32-①	常世田長婆	初冬の躰重さくると塵哉	
32-②	常世田長婆	兼まつやしなどしらみの鳥なき	
33-①	高柳汎潔	手紙や花見し雪の溜ませず	
33-②	高柳汎潔	我かけのくらき船野の月夜かな	
34	尾花傳方居	十六夜もおなじ影なしますみだ川	
35	達部樂兆	田やかへすへたり／＼と谷の底	
36	一草	いら／＼と雁花にあたるゆふ白かな	
37	涑水	元日や吹く風さへも新しき	
38	春園	子代うたふとりも静かに雪の竹	
39	東條心非(仁右エ門、江戸白山廓本)	旅笠もうちかきなりぬ運線堂	
40	貞現	春寒を珠にとり得じ山雲哉	
41	蓬物	おきかえて月よりひさし車の露	
42	岳緒	はつ雪や田に畑ならぬ草の上	
43	目羽(彌業第四代)	水山のうしろは鶴の埋根哉	
44	一之	登る日につれて薫りや梅の花	
45	貞岸	起り旅棧の風の通ひけり	
46	貞哉一叟(飛鳥園五世)	面の手にさしけな梅姫女郎花	
47	杉山杉風	八重菊も今一しほの九月哉	
48		なごな花さき萩の地の冷え	
49	奈美	※鶴人形の簾(彩色)	
50	千代	※鶴土に松原の簾(彩色)	
51	一叟	千なりやつる一すじのころまより	
52	なし	あきらめたぬりする花の留まかな	
53-①	なし	金笠我がもの頭に松の枝	
53-②	有兼	須磨の蒲屋やく海王も君ゆへに柳うつ波のよるしほさなき	
53-③	雪甫	みらとへば苗もて先を教けり	
53-④	なし	配りたる跡へ籠うやくさの餅	
53-⑤	投合野人	行違ふた縁のうちさや今朝の霜	
53-⑥	なし	囀り御法の声や今朝のしも	
53-⑦	なし	をとり子の手振り眼立や京育	

54	なし								
55	松浦								
56-①	香野太坊								
56-②	香野太坊								
57	香野太坊								
58-①	東旭斎								
58-②	東旭斎								
58-③	東旭斎								
59	東花坊								
60-①	花田舎一茶								
60-②	花田舎一茶								
60-③	花田舎一茶								
61	和鳥園學子								
62	木村正幹								
63	春秋庵三世齋田兼三								
64	鴨立庵雅暉								
65	五嶽庵雨暉								
66	高津土明								
67	白雲舟風								
68	天然堂秀朗								
69	伊東左十次郎・村上堀城句								
70	三森三木雄								
71	臥龍								
72	臥龍								
73	秋間								
74-①	一展								
74-②	一展								
75	菊志園保水								
76-①	十世飛鳥園一俊								
76-②	十世飛鳥園一俊								
76-③	十世飛鳥園一俊								
76-④	十世飛鳥園一俊								
76-⑤	十世飛鳥園一俊								
77-①	一俊十世								
77-②	一俊十世								
77-③	一俊十世								
77-④	一俊十世								
78-①	十世飛鳥園一俊								
78-②	十世飛鳥園一俊								
78-③	十世飛鳥園一俊								
78-④	十世飛鳥園一俊								
79	十二世飛鳥園一俊								
80	十二世飛鳥園一俊								

是ちまた月の夜なり酒笑ひ
磯東風にいづく世族かれてまがり根

老たりな水鏡のあてになるやうに
枯草とて睡ほるなよ夏の蝉

小きつ野や一草履の高脚子
冬がれもいわじにいらす睡じま浦

千打の天根なまきや菊の窟
うれしさの氣はむせぬや花の暮

うらぬとてみせ／＼風の若葉哉
くもりしは二百十日の閉じ籠

やは菊も庭の露色や鉢にのり
はなをどひ月を見る夜もわすれぬは御園をおもふこゝろなりけり

三田はなほめつしきさくらかな
うくひすのかはかて二日はつ雪かな

酒のめばなを眼につくや響もみぢ
小唄や親杖はつす地伊の淵

寝る事の上手になるや春の雨
袴着や徳を備てよい笑顔

華にいづつか月夜や明馬
千なりやつる一すじのこゝろより

月の人呼へば遠くで答へけり
能をあさる衆も染潮や蘆の角

めてたさをありの真にする今年かな
また水へ達人らぬ声や初寝

塵や声に聞ある竹はやし
法鏡の来世や花の比叡山

迎入や親み深き陀言葉
栄え行はなの配りや冬の梅

ぬれぬに目は舞いて影染し
時雨をよむへて傳らぬ衆の空

時雨しど思ひとけふのしくれかな
梅一輪々々ほどのあたゝかさ

庭々といへど聞くや雪の門
来て見れば八十は何のその五十九までは昔かなさう

白雲やかせの風情を知りながら
六月や兼を作りて送る雲

無染藤にどしを睡ねてけさの暮
斯うさいてこごほれても萩の花

有るなかへ用の重なる師走かな
源は誰の掌かはるの川

明月や松一本の庭ながら

コビーのカー17-①が原本

倉田兼三 信濃戸倉の俳人白雄内長翠

下絵 弘化年中

下絵の俳人 下絵 柳居内

秋葉氏全二巻書を祝う

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

印刷

81	不物	いくつもの灯にかゝやける離かな	
82	白田垂浪	すかりるて竹と枯れゆく冬の磯	
83-①	春洲	山々の雨籠じけり添棹	春洲散入、櫻紙
83-②	春洲	一昨日の雨籠じけり添棹	
83-③	春洲	はや起も夜深し冬まつ陸日華	
83-④	春洲	うぐのすのつがけきたのむや朝日和	
83-⑤	春洲	朝のごと忘れて日■(口十突)し春の雨	
84	権藤隆松亭	未だ声の耳に残りてほ々とさす	連仲
85	善岳	雲を日や響りに似たる糸羅	
86	五月	雲の兼富士はいづこに行たぞや	
87	拍堂	重の嶺世尺せぬ八重櫓なほ春多き庭の隈	
88	宇津	垣輪の馬冷まじく白砂に立つ	
89	可都里	山はさくら俵はやまの霞かな	
90	戸丈	ちと咲けど白し川隅のうめの花	
91	十八世木塚權龍之	鎌の刃も濡れやせまじとくさ別	
92	十二世飛鳥同一	助け合ふ友や深淵の愚合傘	
93-①	照部卯石	大馬となりし連や夕さくら	昭和49年
93-②	照部卯石	松の花馬上の人に傾りけり	
94	愚仏	栴引や櫛子入形いで擲る	
95	可染	飛で来た鳥のなつかし根の園	
96	杖翁	蒲菜公や請れたかくに■(口十突)で居る	
	杖翁	田舎の行かたに出けり春の月	
	杖翁	鉾を茶魚も浅瀬や蘆の角	
	杖翁	基立や向王の伎にもたゞぬ草	
97-①	照部明雨	でゝ虫に門まもらせて軒哉	
97-②	照部明雨	一銭の贖買ふも人手や雁の夏	
98	一葉居士	花咲いて何にを驚かや仁王の目	
98-①	養終(秋葉) 十世飛鳥圓息	塵すりて大輪の霜かたれけり	
98-②	養終(秋葉) 十世飛鳥圓息	目出度さや芝頭ばかりの秋の圃	
100-①	三江	梅柳野の道のにるべ哉	
100-②	三江	波らぼどの流れ隔えて梅薫る	
100-③	三江	その影に歩行色をよ春の月	
100-④	三江	一輪の梅にもみゆる日数かな	
100-⑤	三江	頓首は月も團や茶の山	
101-①	一斐	はなの山鼓の鼓の出りけり	
101-②	湖心	手繰りてもたゞりきれなし夜の長さ	
102	湖心	朝顔の響て隠れて立香かな	
103-①	逸叟	逐次は春に隠れてけけふの月	香取町下小野、高岡逸叟
103-②	逸叟	千代蓬へき来しや松の色かへぬ	
104	好雅	あれ葉なくこふも咲きけり飛鳥山	拓本
105	正岡子規	柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺	
106	一徳	少無りてまた見聞すや庭の梅	
107	旦燕子 兼善和一	掛け替ふや子のかけのぼるらつか唄	

108-①	文深		したるゝや唯一本で梅柳	
108-②	文深		より過てほど／＼にけるもかてかな	
108-③	文深		丑年や嘆ては慍り理正月	
108-④	文深		おぼる夜やよければよけて行けり	
108-⑤	文深		舌ばかりまけてはかきや柳洗	
108-⑥	文深		梅白し唄来てなく句老鳥	
108-⑦	文深		落葉や米の穂のふみはじめ	
109	下村為山		此指に雪つつけ採細の雀かな	
110-①	連一		菊百や古根を出て古めかす	
110-②	連一		まなに腰かけてながむる體かな	
111	不勿		庭はくや落花まづともあらねども	
112-①	一馬		人はいさ桜に下戸どなかりけり	
112-②	一馬		藤床や杖にやつれし旅行脚	
112-③	一馬		口吹や水に親しむ咲き所	
113-①	一馬		いひかはず言葉めでたし今朝のはる	
113-②	一馬		しくるゝや杖邊の旗ごゝろ	
114	宇涯 今泉正雄		汗も流し太美御の首飾り	
115	剣花房		膝飯のどこに小町の花の色	
116	北叟		転ばした妻や田圃の朝鳥	
117-①	浩翁		若竹をへだてゝ瀧り茶のけぶり	
117-②	浩翁		至んつや何の用にもたゝぬ連	
118-①	無名庵露城		くらきよりあらはるゝもの不二の山	
118-②	露城		淡雪のきえぬむ小家の煮ごみ紙	
119	十湖		若水や大河の上をひとすくひ	
120-①	西馬		通風や船にみて行く暮の山	
120-②	西馬		似た花も似た香もなく梅過し	
121	藤野天光		ほゝみかてすべとを憂す野の広	
122	一碧楼		冬木につきあたる径をゆく	
123	張川眞骨		頼しきの乳ふくまするいとまかな	